

ひがしの



成長し続けるために…

校長 浅井 誠

12/24 冬休み前集会での話は「高く跳べなくなったノミ」です。

ノミは、体長の約150倍も跳ぶことができます。しかし、透明なガラス容器に閉じ込められると、跳ぶとガラス容器にぶつかり続けてしまうので、そのうちに諦めてしまい、高く跳ぶことをしなくなります。その後ガラス容器を外しても、高く跳びません。



透明なガラス容器のように、見えない壁（限界）を自分でつくってしまうと、自分の力を忘れ、発揮しなくなってしまう…成長を自ら止めてしまいます。

しかし、跳べなくなったノミを、再び高く跳ぶことができるようにする方法があります。高く跳ぶことができる別のノミと一緒に生活させることです。限界を自分でつくっていない、高く跳ぶことができるノミと一緒に生活することで、跳べなくなってしまったノミは、自分の能力を思い出し、再び高く跳ぶことができるようになります。

私自身、この話の跳べなくなったノミのように、自分で限界を早々に作り、周囲の環境などをできない原因にしていた弱い自分がいたな…と自省しました。

一方で、東野小の子どもたちの最後まで決して諦めない姿、挑戦し続ける姿に感化され、自分の力を発揮することを思い出したり、挫けそうなき励まされたりしながら生活していた自分にも気づきました。

新型コロナウイルスとともに生活していることで、できないこと、制限することなどがたくさんある現在です。そんな生活の中でも、できないことばかりに目を向けるのではなく、最後まで諦めずに挑戦し続ける子どもたちの姿があります。

子どもたちの明るく元気に挑み続ける姿から、私たちはエネルギーをいただき、学校行事や諸活動を、充実感をもって終えることができた令和3年だったと振り返ります。



この冬休み中に迎える令和4年も、東野小の子どもたちが希望をもち、見えない壁を自分でつくらず、成長し続けられる1年にしたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様には、さまざまな教育活動に対して、ご協力、ご支援をいただき感謝しております。ありがとうございました。引き続き令和4年もどうぞよろしくお願いいたします。

